

保健師職能委員会

委員長：中 由美

1. 活動方針および活動目標

- 1) 地域における看護職間の連携強化に関する情報収集・課題集約
 - ①助産師職能委員会との連携（流産・死産等を経験された方に対する支援）
 - ②産業領域の保健師との連携、協働について現状把握・課題集約
- 2) 各地域の状況に応じた保健師の人材確保・人材育成に関する課題集約・支援

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	委員
定例委員会 【マルイトOBPビル】	1) 保健師の人材確保・育成について課題把握 ・自治体保健師の魅力・情報発信事業 ・自治体における人材確保・育成についての現状把握 2) 流産・死産等を経験された方に対する支援に係る情報提供票活用の評価 3) 産業領域保健師の現状について把握	全11回	12名
保健師・助産師職能 合同会議 【マルイトOBPビル】	議題「流産・死産等を経験された方に対する支援：地域との連携システム・支援者情報提供票について」	12月6日	10名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	委員
人材確保・育成イベント 【マルイトOBPビル】	大阪府看護協会開催「自治体保健師の魅力・情報発信事業」イベント開催	1月25日	11名
産業領域保健師の現状について（勉強会） 【マルイトOBPビル】	産業領域保健師の現状と日本看護協会の活動について学ぶ	5月8日	12名
【活動の概要】 「自治体保健師の魅力・情報発信事業」イベント開催 日時：令和7年1月25日（土）午後1時～4時 対象：看護学生、保健師資格保有者、学生の保護者等 参加自治体：千早赤阪村・貝塚市・八尾市・東大阪市・大阪市・大阪府 参加者数：58名 保健師活動について理解を広め深める周知活動が課題と考え「保健師の魅力・情報発信イベント」を開催した。看護職を目指す学生に保健師という職種や自治体による活動の違い等を知ってもらい良い機会になり、自治体側にとっても相談を通し保健師に求められている活動を再認識することにつながった。			

4. 課題・その他

- 1) 地域における看護職間の連携強化に関する情報収集・課題集約
 - ①医療機関、訪問看護ステーション、施設、保健所（行政）等との連携について、各地域でどのような状況にあるか情報を収集し、強化に向け課題を把握する。
 - ②助産師職能委員会との連携（流産・死産等を経験された方に対する支援）
- 2) 各地域の状況に応じた保健師の人材確保・育成に関する課題集約・支援